

令和4年度第3回小金井市食育推進会議 会議録

日 時 令和4年11月30日(水) 午後2時～午後3時10分

場 所 保健センター1階 大会議室

出席委員 13人

会 長 山 岸 博 美 委員

副会長 松 嶋 あおい 委員

委 員 牧 野 ま や 委員 雀 部 かおり 委員 妹 尾 和 子 委員

委 員 太 田 篤 胤 委員 伊 熊 和 也 委員 北 脇 理 恵 委員

委 員 井 上 正 子 委員 服 部 聡 委員 萩 原 英 幸 委員

委 員 松 本 祐 子 委員 中 谷 行 男 委員

欠席委員 3人

委 員 横 山 英 史 子 委員 桜 井 努 委員 保 谷 匠 委員

事務局職員

健康課長 石 原 弘 一

健康課係長 永 井 桂

健康課主任 近 藤 仁 美

健康課主事 矢 島 幸 子

傍 聴 者 0人

(午後2時 開会)

○事務局 皆様、定刻になりましたので、会議を始めたいと思います。

本日は、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。また、コロナ禍ですけれども、今回は前が書面開催ということもあって、対面で開催させていただくことになりました。皆さん、今、部屋の中がちょっとうるさいという感じがすると思うんですけども、この部屋は発熱外来に以前使

ったことがあります、そのために給排気の設定がございまして、今その設備の機械を動かしている、こういう音がするという事、すみません、ご承知おきください。今、前の2つの窓が開いている状況になって、こちらのドアも開けております。一応暖房は入っておりますが、もし寒いということがありましたら、暖房の温度等を上げたいと思いますので、その際には遠慮なく手を挙げて事務局のほうに伝えていただけたらと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○山岸会長 皆さん、改めまして、こんにちは。では、定刻を過ぎましたので、始めさせていただきます。

本日は、お忙しいところご出席いただきありがとうございます。それでは、これより令和4年度第3回小金井市食育推進会議を開催させていただきます。

初めに、委員の出席に関して事務局のほうからお願いいたします。

○事務局 本日の委員の方々の出欠でございますが、横山委員からはあらかじめ欠席の連絡をいただいております。現時点では桜井委員と保谷委員がいらしていませんが、欠席ということは聞いておりませんので、お二人が見えれば、会長を除きまして14名、お二人がもしいらっしゃらないことがあっても、12名で半数を超えておりますので、審議会として成立することをご報告いたします。

次に、配付資料の確認をさせていただきます。

本日、机の上に配付させていただいたものとしまして、まず、今日の会議の次第、名簿、前回の食育推進会議の会議録案、書面会議ですけれども、会議録案として出しております。それから、令和3年度進捗状況調査結果、皆さんには前回、書面開催だったので、データで送らせていただきましたが、A3の用紙に印刷をしてあります。それから、閲覧用と表紙にシールが張ってある第4次小金井市食育推進計画、何か御覧になるときのために置きましたので、会議が終わりましたら机に置いたままにさせていただいて結構です。そのほかに、こきんちゃんの絵のついた小金井てくてくマップ、それから、水色の小さい用紙の第4次小金井市食育推進計画というものがあります。

以上、7つの資料なんですけれども、ございますでしょうか。もしない方がいらっしゃいましたら、お申出ください。

それから、ピンク色のティッシュは10月の乳がん検診、ピンクリボンキャンペーンのものです。健康課ではこういうことも行っているということで置かせていただきました。

以上、資料はこれで全部となりますが、そろっていない方がいらっしゃいますか。大丈夫ですか。

もし途中で何か足りないものがございましたら、手を挙げて事務局のほうにお伝えください。

○山岸会長 ありがとうございます。

では、議事に入る前に、事前に皆様のところへ送付されている前回の議事録案で御自身の発言内容を

確認していただきたいと思います。もし訂正された方は、訂正どおりになっているか確認していただきたいと思います。

確認、変更されまして、この議事録案でよろしい方は挙手をお願いいたします。

(挙 手)

○山岸会長 よろしいでしょうか。ありがとうございます。

もし追加で何か気がついたことがございましたら、終了までに事務局のほうにお願いいたします。

では、意見提案シートについて事務局からお願いいたします。

○事務局 意見提案シートの提出はありませんでした。

○山岸会長 ありがとうございます。

それでは、議事に入ります。

令和3年度小金井市食育進捗調査結果について、事務局からお願いします。

○事務局 既に前回の書面会議で皆様からご意見等をいただいたところです。本来なら、資料の見方等を先に説明しなければいけないところですが、まず、こちらのほうからこの調査用紙について説明いたします。お手元にあります小金井市食育推進計画進捗状況報告（令和3年度実施分）をご覧ください。それと、閲覧用の計画書を出していただければと思います。

まず、この調査用紙についてなんですけれども、調査用紙の1ページ目は一部数字が見えないところがございますので、2ページ目を開けてみてください。そうしますと、一番左にナンバーの1と書いたところがございます。こちらの1と書いてあるのは、計画の34ページを開いていただくと、34ページから42ページまで、小金井市の食育に関する全部の事業が載っております。これが全部で68あるんですけれども、一番左は68ある事業の通し番号になります。なので、調査用紙の一番最後、大学等との連携推進というところが68番になっております。

それから、数字の左から2番目の34という数字です。この34というのは、一番最初の食育月間の取組というのは34ページにありますよという意味になります。

それから、3番目の番号というのは、34ページの啓発活動の充実という中での1番ですよという意味で番号を振っております。

次に、事業の名称、事業の内容、その次は令和2年度の進捗状況調査ということで、前年に調査したときの内容が出ております。それから、前に調査したときの評価も出ています。この評価については、各課が自分で評価を入れるようになります。評価の入れ方については、調査用紙の一番最初の自己評価というところにA、B、C、Dで、こういう場合にはこういうふうに入れるようにということで書いています。その隣の令和3年度進捗状況調査というのが今年度、各課にお願いした回答となっております。

この回答の隣が効果があったと思われる食育の視点というものになっていますが、この7つの視点というのは、計画書の30ページにある第4次食育推進計画の取組の指標の1から7までと関係があるかどうかということで、各課にお願いして入れていただいたものになります。この調査の結果によって、その課の事業の進み具合を評価するのがこの調査ということになります。

ただ、ここ数年、コロナ感染の拡大もあって、未実施や年間回数がこなせなかったものも多々あります。内容的に食べるが多かったり、また、人が集まるということがあって、各課それぞれすごく苦しくて、やはりそれでもできなくて中止になった部分というのも結構多かったように思います。

また、7ページの一番上なんですけど、健康課の事業で市民アンケート調査というのがあるんですけども、この市民アンケートにつきましては、この計画が、例えば第3次のおり5年間で計画をやっていくんですけども、その次の計画策定をする前の年、そうしますと、令和3年のときにちょうど市民アンケート調査をしました。でも、もう4年はやっておりませんので、やっていない年につきましては、最初から予算もつきませんので、そういうときは回答なしという形にさせていただいております。

それから、事業についてですが、計画が新しくなったことに伴って、前回にはなかった事業もあれば、前回の計画の途中から加わったものもあります。令和2年にはなく、令和3年にあるものは比較ができないため、そういうものについては評価を入れておりません。

以上が、調査用紙の項目についてです。

必ずしも、同じ計画内の5年間に同じ事業でなければいけないという縛りを入れたりとかはなくて、それは各課の予算とか事業状況によっても変わることがあるということをお知らせいたします。

あとは、回答について、私の分かる範囲で解説をしたいと思います。また、コロナ禍においてどのように通常と変更しているかなどの質問等もございましたので、そういうのも含めて分かる範囲で説明したいと思います。

では、報告用紙の1ページ目、食育月間・食育の日の取組についてです。このことにつきましては、東京都や国から毎年調査が来て報告するようになっております。健康課が各課の取りまとめをして報告もしている次第です。

一番最初に健康課となっているんですけども、2番目の学務課についてです。学務課のほうは、小金井の市立小中学校の食育について報告をしております。それからまた、その次のページになるんですけども、保育課は、小金井市立の保育園5園について報告をしています、どちらの施設も給食を行っているので、給食を中心とした食育になっております。健康課では、食育月間は、小金井市民歯と口の健康の中で展示をしております。まず、保育園について、少し聞いたことをご紹介します。公立保育園の食育についてです。実際にクッキングをやっているんですけども、5歳は包丁、4歳がピー

ラー、つまり皮むき器なんですけれども、3歳はちぎるという作業をするそうです。また、トウモロコシの皮むきやソラマメのさやむきなどは2歳でも行うことがあるということです。小金井特産のルバーブのおやつは、原料に混ぜて蒸しパンやケーキなどを作るそうです。それから、魚の解体教室を行っている保育園もありまして、そちらの講師は栄養士と調理員で、5歳の子供たちの前でアジを3枚おろしにするとところを見せ、次にホットプレートで焼いて、そこにしょうゆとみりんを絡ませて香りを感じさせながら、照り焼きを作る過程を見せます。その間に命を頂くというお話もしていくそうです。

健康課は、令和3年度は、小金井市民歯と口の健康、場所は宮地楽器ホールだったんですけれども、そちらでパネル展示を行いました。会場が狭いので、展示等、保健センターで行うよりもコンパクトになります。通常なら保健センターで行い、幾つかの展示とクイズなども過去に行っていました。

健康課の食育の日については、毎月19日なんですけれども、乳幼児食育メールの配信を行っています。配信につきましては、ゼロから5歳のお子さんのいる登録をした方のみが対象なんですけれども、離乳食教室で質問が多かった点や、実際の講習会、デモンストレーションなども行った献立などの紹介の記事を掲載しています。

それから次に、調査用紙の2枚目の裏側、4ページになるところなんですけれども、農業祭での啓発活動というのがあります。こちらの農業祭での啓発活動については、農業絵画コンクール・食育カレンダーという言葉が見えていると思うんですけれども、こちらは農業委員会や食育ホームページの委員の方が関わっていらっしゃるんで、どちらの委員もされている松嶋委員、よかったらこの説明をしていただけたらと思います。本年度のことは後で農業祭のコーナーがありますので、簡単に結構ですので、よろしくをお願いします。

○松嶋副会長 食育カレンダーについて、食育ホームページのほうで御協力をさせていただいているんですが、食育ホームページは以前も説明したと思いますが、野菜のレシピが100以上ありますので、そこから農業委員会事務局の方が選んでいただいた旬の野菜について、こちらのほうからこういうレシピはどうでしょうかというような御提案をさせていただいたりして、農業委員の事務局の方とかともお話ししつつ、カレンダーを前に作成してみました。今年も会議にも私も出させていただいて、写真についていろいろな細かいことができたので、割とスムーズだったんですけれども、それまでは伝言ゲームみたいになってしまったりするので、なかなか進まなくて、食育ホームページのほうも月に1回しか会議がないものでありまして、なかなか、ですけど、今後も改定して、食育カレンダーに合わせてこちらにもレシピを考えていくということも今後考えていきたいと思っています。

食育カレンダーというのは、小学生のお子さんが描いた野菜の絵とかで配られているもので、中の説明が、私も急だったものですみません、このような説明でいいでしょうか。

○事務局 小学生の野菜の絵が毎月描いてあって、下に献立の写真なども出ているんですけども、またその絵がとても上手なんです。うちの課も部屋に飾らせていただいているんですけども、年内の会議の時期にはちょっと間に合わないの、また次の会議になるかと思いますが、皆さんにもできましたら配付したいと思いますので、乞うご期待という形でしばらくお待ちください。今、松嶋委員に説明していただきましたが、そのような形になります。

次に、5ページを御覧ください。ここにはごみ対策課関係の生ごみリサイクル事業があります。6番のところに食品リサイクル堆肥というのがございまして、その令和3年のところに集合住宅の投入と書いてあるんですけども、この集合住宅というのは貫井北町の公務員住宅のことで、公務員住宅の敷地の中に食品リサイクル堆肥を作るための機械が置いてあるということです。

それから、次の34の7のフードドライブについては、ごみ対策課が社会福祉協議会の敷地内で行っています。食品の消費期限などをチェックしながら、ご家庭で食べ切れないなどの食品を受け取り、社会福祉協議会に引き渡し、また、社会福祉協議会から施設等に届けるという流れなのですが、社会福祉協議会の井上委員さんがいらっしゃいますので、井上さんのほうからご存じのことを説明していただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

○井上委員 フードドライブは、家庭で余っている食品を拠点で回収し、NPO団体、社会福祉協議会を通じて福祉施設などに届ける、そして、食品ロスを削減するということなんです。毎月第2水曜日、社会福祉協議会の駐車場で、市役所のごみ対策課の人が見えて2名で回収していました。私もちょっとお邪魔してそばにいたんですけども、二十五、六件、自転車で皆さん袋に入れて持ってきて渡していましたけれども、ただ、渡すときにもちゃんと密封されているかどうか、賞味期限がどのぐらいあるかをごみ対策課の人が見て、それをもらって回収しておりました。私もこれがもっと社協だけじゃなくてほかのところに広げていきたいという話をちらっとしたんですけども、需要と供給がうまくバランスが取れないと、もらうだけもらって、結局、食品ロスで捨ててしまうようなことにもなるので、その辺がとても難しいから、社協のほうでよく相談しながらやっていってくださいというようなアドバイスをもらいましたけれども、皆さんとっても熱心に、次から次へと自転車に乗って袋で持ってきたものを渡して、本当に皆さんすごく協力的で感心しました。

以上です。

○事務局 ありがとうございます。

子ども食堂については、補助金は子育て支援課、寄附する食品の収集はごみ対策課、収集した食品の分配や運営について関わっているのが社会福祉協議会という形になっております。私もごみ対策課さんに聞いたことなんですけれども、今、井上委員がおっしゃっていたとおり、フードドライブの回収品は

どんどん増えていますということでした。以上がフードドライブになります。

それから、今の資料の一番下のところに食品ロス削減月間の取組というところで、令和3年、市内のセブンイレブン全店への手前取りポップを掲げていただいているということなんですけれども、日付を見て新しいものを探して取るということが多いかと思うんですけれども、それをちゃんと前から取っていきましょうと啓発するポップだそうです。市内には、このように協力してくださるセブンイレブンは20店ほどあるということでした。ここのページは以上になります。

次、1枚めくっていただきます。一番上の食育市民アンケートのほうは、先ほど説明させていただいたとおり、5年に1回だけなので、実施は令和3年度はなしになっておりますので、評価はなしとなります。

それから、次の7ページの下から2番目に、18、35の5、地場野菜等の販売推進という項目があると思います。萩原委員のほうから何か補足等ありましたら、よろしくをお願いします。

○萩原委員 庭先マップのほうも今回新しく作っていただいて配布したんですが、非常に好評で、私も、今、小学生3年生宛てにも青壮年部として今事業をさせていただいていまして、今年もやらせていただきます。配った途端、結構皆さん、やはり興味を示してもらえるので、町なかでもたまに合うと声をかけてもらって、こちらは顔を覚えていない子供もいるんですけれども、そういう反響が大きかったのも、地場のアピールとしては非常によかったのかなと思っています。

実際に近隣の畑を選んで児童に来てもらうという方法を取っているんですけれども、今回は東小が暑過ぎて体育館のほうで開催させていただいて、あとは学芸大附属のほうからもこの前、10月に事業をさせていただいて、近隣で畑を紹介することができませんでしたので、実際に向こうに寺島ナスの鉢植えなどを持参して、あとは庭先マップと、あと江戸東京野菜のマップ、冊子を持って、そちらのほうで話をさせていただきました。実際に地場の話をすると、子供たちから栄養士さんに声がかかることが多くなったので、地場の自給率アップにつながっていくかなと、今ちょっと期待はしています。

以上です。

○事務局 ありがとうございます。庭先直売所マップは、新しく第4次小金井市食育推進計画の冊子ができたときに皆様にも計画書と一緒に送らせていただきました。

また、健康課でも今、窓口に置いたりとか、離乳食教室等の事業で配布させていただきました。減り具合が速くて、うちも頂いた部数はあと僅かということになるぐらい人気があります。

では、その次ですけれども、次が8ページ一番下、23、36の10です。ごみ対策課、公立保育園の園児を対象に資源循環の紙芝居と食品リサイクル堆肥を使ったプランター野菜の収穫を行うということで、紙芝居はどうしたんですかと聞きましたら、ごみ対策課が保育園児向けの紙芝居を作って、そ

れを保育士の方々が、ほかの紙芝居同様、子供たちに読んであげるといったものだそうです。

それから、ひっくり返しますと、全部健康課の事業なんですけれども、令和3年度につきましては、ほかの事業との関係で一部中止になったものもあるんですけれども、ほぼ実施をいたしました。コロナ禍だったため、今まで例えば16人、18人取っていた離乳食教室は9人、9人ってすごく少ないように思われるかもしれないんですけれども、離乳食教室の場合はお母さんがお子さんを連れてくるので、人数が倍になってしまうんですね。なので、お部屋の数とスタッフの数からいったら、それがいっぱいかなということで、他事業と同様約半分の9人という形で取らせていただいていたんです。キャンセル待ちも多かったため、今年度は1組増やして10人ということで今年度はやっております。

前は調理実習も20人、ちょうど椅子が20あるものですから、20でやっていたんですけれども、今現在、調理実習をみんなで食べるということに関しましては、場所が狭いこともありますので、食べることはやっておりません。そういうものにつきましては、半分の数の9人から10人ということで、試食なしで、講義とデモンストレーションということでやらせていただいております。

こどもクッキングも、家ではなかなか大変ということもありまして、2歳から5歳ぐらいまでのお子さんを対象に年4回なんですけれども、そういうものもやっておりましたが、お子さんの場合は、講義だけ聞いているということではできないので、またデモンストレーションだけでも自分の参加がないと面白くないので、何かを丸めたりとか、ちぎったりとか、そういう作業をしているような状況になっております。

離乳食教室なんかにつきましては、元から離乳食教室は調理実習はないんですけれども、栄養士の講義、それから前でデモンストレーションをやるほかに、前は試食をしていたんですけれども、試食していたときと全く同じように全部作りまして、それを各自一人分ずつ配って、直接手で触ったりとか、スプーンで硬さ等を見ていただくというような、味以外の例えば匂いだったり色だったり、一番大事なのは軟らかさとか硬さだと思うんですけれども、そういうものを味以外の部分で感じていただくというような形でやっている次第です。

この結果は令和3年度ですけれども、今年度も同じような状況で実施しております。

このページ全部健康課と言ってしまいましたが、一番下の31、37の8のエンジェル教室というのは、健康課ではなく、隣の子育て支援センターの事業になります。こちらは対象が四、五か月のお子さんがいる保護者で、ここでも離乳食のお話もあるんですけれども、離乳食だけじゃなくて、保健師さんのお話だったりとかいろいろあるようです。こちらはどちらかというと、そういう取り組む場もあるんですけれども、保護者同士の交流の場にもなっているということです。

このページの裏になりますと、公立保育園の事業になります。いろいろあるんですけれども、一番最

後の41の38の10というところで、園ごとに保育園給食のお勧めレシピや旬の食材等を紹介しています。保護者向けに展示、レシピメモを配布し、乳幼児食への理解促進に努めましたということです。私たち健康課と保育課というのは対象が未就学児の保護者ということで、共通しているところから、今年度、2階の栄養相談室前、この会議室の真上なんですけれども、その廊下に5つの園の献立表を掲示するとともに、お勧めレシピとかそういうものを保育園からもらいまして、自由に持っていけるようにしてあります。1階に入った正面のすぐ左のところにも、同じ保育園のレシピを幾つか自由に持っていけるように置かせていただいています。もしよろしければ、帰りにご覧になってください。保育園の栄養士の人たちのタイトルが面白くて、包丁も持てないぐらい疲れたあなたへとか、そんな感じで、働いている保護者の方たちがおうちに帰って手早くお料理ができるようにとか、お子さんの保育園での人気メニューとかそういうものがA4の紙に書かれていますので、よかったらお持ち帰りください。

その次のページの42、43ですが、こちらは児童館です。児童館を管轄しているのは児童青少年課というところなんですけれども、こちらでも聞きましたところ、調理や試食は令和3年度につきましては全部中止です。今年度、4年もどうしているのかと聞いたところ、今のところは中止しているということでした。調理、試食ができないので、講義みたいな形でやっているものもあるということでした。

次の44ページからは指導室、学務課、教育委員関係となります。

最初の44の39の1のところと、この先、中学校の部分がまだ先にもあるんですけれども、小学校はICT端末を用いてというのが文章の中にあるんですが、何をしているんですかと聞いたら、お米作り農家とオンラインでお話を聞いたり、そういう交流をしたりしたそうです。

それから15ページ、紙を1枚めくったその次になります。下のほうに、成人学校とか成人菜園教室というのがあるんですけれども、60、41の5のところ、令和3年以降は菜園教室に統合しましたと書いてあるんですけれども、こちらは農園で種まきをしたり、収穫などの行事をそれぞれの公民館がしていたようなんですけれども、今までそれぞればらばらに行っていたのを本館ですべて菜園教室として行っているということです。菜園教室は農地を借りなければいけないのですけれども、コロナ禍で、学芸大の中にも畑があったんですけれども、まずそこが使えなくなっていたり、あとは、別にこれはコロナだからではないらしいんですけれども、借りていた個人の農地を返還しなければいけない時期になってしまって、そうやって使えるところが限られてきてしまったので、本館で全部まとめてその事業をするということになったそうです。本館では、農工大学近くのピーコックというスーパーの南側の畑を借りているという話が公民館の方からありました。

それから、めくりまして、16ページの上のほうに63の41の8、配食サービスというのがあります。介護福祉課のほうでは、高齢者の方が健康的な食生活を送れるようにということで、こういう配食

サービスを行っています。食の支援事業ということで、そこに数を書いてあるんですけども、この数について多少変化があるのは特に原因はなくて、対象の方が多かったかなということだそうです。週に3回とか、4回から6回とか、事情に応じてみたいなんですけれども、4回から6回というほぼ毎日みたいな配達の方は、食事能力関連アセスメントというのがあって、その方のいろいろな生活とかを点数化して、その中で、皆様もよく御存じの体重を身長²で割った健康の指標の1つであるBMIが20以下の、どちらかという虚弱な状況であるかどうかを、特に高齢者の方というのが理由だと思うんですけども、それを判定し、自立していくのに栄養がやっぱり不可欠であるということから、そのような方に食事が行き届くようにしていますというお話がありました。

また、茶話会というのも前にやっていたみたいなんですけれども、こちらは桜町病院が行っているんだそうですが、コロナの状況により中止することがありますということをお話しされていました。

それから、その次に、前の年はなかったんですけども、介護予防・フレイル予防普及啓発ということで、介護福祉課のほうから新しい事業をこちらのほうに加えていただきました。こちらは、もしかしたらこの中にも御存じの方がいらっしゃるかと思いますが、小金井さくら体操というのがありまして、それを中心とする1回45分の介護予防体操の教室みたいな形でやっておりました。私も1回見学しに行ったことがあるんですけども、そんな暑い時期じゃなかったのに、小金井さくら体操というのと、あともう一つ、セラバンド体操といって、伸びるゴムみたいなものを持ってやる体操と、あともう一つ、3つ体操があって、全部やると45分ということなんですけれども、そういう体操の合間に、ここの課は栄養士はいなくて保健師さんだけなんですけれども、保健師さんが体操の合間になるべくたんぱく質を取りましようみたいな栄養の話をしたりとか、暑い時期だからこういうことに気をつけましようとか、保健のお話をされていました。来ている方たちも皆さんとても機敏な動きをされていて、私のように運動しない者は日頃の運動不足を反省させられたような形になりました。こちらにもしご興味のある方がいらっしゃいましたら、介護福祉課のほうへぜひお問合せください。

今、大まかにこちらの事業を説明させていただきました。

○山岸会長 以上でよろしいでしょうか。

たくさんの報告、どうもありがとうございました。せっかくですので、今報告のありました事業の中で、委員の方で関わっていらっしゃる方がいましたら、ぜひご意見とか補足説明等をいただければと思います。また、書面会議でも委員の皆様からはご意見やご感想をいただいたのですが、せっかく本日は対面で行っておりますし、何かご発言等ございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

それでは、お願いいたします。

○雀部委員 雀部です。先に前回の議事録を拝見させていただいて、ほかの委員の方の意見にお答えで

きるかなと思ったので、少しお話しさせていただきたいんですけども、議事録の3枚目の裏側、ページ数がないので枚数でお知らせしますが、上から3枚目の裏、横山委員が書かれているものなんですけれども、庭先直売所の話が一番最初に書いてありまして、直売所に農家さんのお勧めレシピなどを置いたりという文章がありまして、私、食育ホームページ編集委員の副委員長をしていますので、そちらのほうのレシピは市内でどんどん使っていただきたいなと思いますので、該当の野菜等があれば、個人で印刷していただくか、もしくはJAさんにお問い合わせできる部分もあるのかなとは思いますが、いっとき、JAの直売所、ムーちゃん広場にも置かせていただいたりしたこともあったので、フリーなので、どんどん市内では活用していただきたいなと思いますし、小金井の野菜を基に全てレシピを考えておりますので、活用していただけたらいいなと思います。よろしくお願いします。

○事務局 先ほど言いましたカレンダーのほうには活用していただいているんですけども、売場でもどんどん活用していただける仕組みがいいなと思っております。よろしくお願いします。

○雀部委員 特に変わった野菜については、食べ方が分からないという話を、以前、松嶋さんともそういう話をしたことがあって、たまたま松嶋さんが売場にいらっしゃったときに直接聞かれてきたお客さんもいらっしゃるということでしたので、特に珍しい、一般のスーパーさんなどでは手に入らない野菜については、力をこちらも入れていきたいなと思いますので、ぜひ配っていただけたらいいなと思います。

○山岸会長 ありがとうございます。ちなみに、変わったお野菜というのは何か……。

○雀部委員 そうですね、松嶋さんがこの間聞かれたのは、バターナッツカボチャですね。

○松嶋副会長 バターナッツカボチャと、その前に聞かれたのはハヤトウリ。

○雀部委員 ハヤトウリ。

○山岸会長 ハヤトウリですね。

○松嶋副会長 あとはルバーブのレシピを今後も増やしていきたいと思っております。

○山岸会長 そうですね。なかなかお店では売っていないものだと思いますので、ありがとうございます。どうでしょうか。

○太田委員 よろしいでしょうか。

○山岸会長 太田委員、よろしくお願いいたします。

○太田委員 先ほど井上委員のほうからフードドライブのお話がありまして、私は非常に個人的に興味を持っているんですが、自転車で持ってこられるということは、完全に個人の方という解釈。

○井上委員 そうですね。一般市民の方ですね。業者の方も……。

○太田委員 営業されている方が在庫を持ってくるのかなと思っていたんですけども。

- 井上委員 はい。自分のうちにある余っている食品を持ってくる。
- 太田委員 縛りとして、賞味期限1か月以上あるものというのがあると思うんですけども。
- 井上委員 はい。1か月ぐらいあったら、社協のほうでも受け取ってからいろいろできるので。
- 太田委員 自分でなぜ食べないのであればという……。
- 井上委員 お歳暮の時期とかお中元の時期とかにもらったもので食べられないものを、今だとちょっと違いますけれども、持ってくるとか、そういうようなこともあるのかなと。中には、本当のことを言うと、私、買ってきたのよねとかという方もいらっしたんですけども、それはちょっと違うんですけども、お気持ちをいただくという意味でいいんじゃないかなと私は考えたんですけども。
- 太田委員 個人的には、そういう機会があったら参加したいなと思っていたんですが、全然、小金井市でやっているということが分からないので。
- 井上委員 社協だよりか何かに載せたことがあって、それを見ていらっしゃる方が多い。私も知らなかったんですけども。
- 太田委員 まだまだ掘れば寄附は……。
- 井上委員 頂くのはいいんですけども、需要と供給のバランスが取れないと、社協でもためて結局どうしようもなく捨ててしまうということになってもよくないので、その辺のことはよく相談しながら進めていければと。
- 太田委員 もらい手はたくさんいるような気はするんですけどね。
- 井上委員 そうですね。
- 太田委員 そっちの発掘のほうが大切なのかもしれませんね。ありがとうございました。
- 山岸会長 ありがとうございます。そうですね。私も供給がなかなかないとおっしゃったんですけども、今の現状ですと、供給があるんじゃないかなと。
- 井上委員 私の身近な人で男性で独り暮らしの人がいらっやして、食事を作るのも大変だって個人的には言っていたので、こういうこともあるから社協に相談してみたらというふうに言ったんですけども、そういうところには世話になりたくない、高齢の方はプライドがあってということだと思うんですけども、その辺を上手に話を持っていかれるように、ちょっと私もぶっきらぼうだったかなと反省しているんですけども。
- 山岸会長 いえいえ。幸せというか、お裾分けですよ。
- 井上委員 そうですね。
- 山岸会長 そんなふうにフードドライブのイメージが優しいという……。
- 井上委員 そうですね。もっと広がって。

○山岸会長 そういったイメージになるといいかなと。

○井上委員 いいですね。

○山岸会長 ありがとうございます。どうでしょうか。

○牧野委員 すみません。牧野です。

○山岸会長 お願いします。

○牧野委員 今の件に関してなんですけど、需要と共有で、需要って、皆さんに人気がある食品、欲しいがる食品というのはどういったものなのか教えてください。

○井上委員 フードドライブの需要ですか。

○牧野委員 そうです。

○井上委員 結局、独りで生活している人に多いんじゃないかなと思うんですけども、自分で障がいがあったりなんかして、食事が3食はきちんと取れないとか、そういう方……。

○牧野委員 インスタントラーメンみたいなものですか。

○井上委員 いや、持ってくるものは、私もこれは何とかというのは見なかったんですけども、インスタントのものもあったように思います。

○牧野委員 例えばなんですけれども、私が住んでいるマンションでは、時々すごく不届きな方がいらして、サラダオイルを未使用のまま全部不燃のごみとか何とか、違法に捨てちゃう。それが賞味期限があるのかないのか、そこまで私は触っていないから分からないんですけども、ああいうオイルって使わなかったら、一々開けて中を捨てるのもできなくて困り物になるんですね。かといって、寄附というのでも、1本2本ならともかく、まとめてだと結構重いので。

あと、私の実家でしたら、こんなの要らないといって乾麺のセットが送られてくるんですけども、あれも一々湯がくのが億劫でたまりがちになるので、それを仮に寄附しても、やっぱり善意の押しつけになってしまうのかなと思ったんです。

○井上委員 何があれでというのはなかなかお話しできない……。

○牧野委員 分からないですよ。

○山岸会長 ありがとうございます。必要に感じている方ももしかしたらいらっしゃるかもしれないですよ。乾麺のほうが日持ちがするから助かるわとかね。ありがとうございました。

そうしましたら、次に移らせていただきたいと思います。今年度の農業祭について、松嶋委員と、今日は桜井委員がいらっしゃらないので、萩原委員のほうからお願いできればと思います。

○萩原委員 今年、3年ぶりに開催させていただきましたけれども、産業祭、飲食のほうができなかったの、農業祭独自ということで、フェスティバルコートをお借りして開催させていただきました。今

回も野菜の宝船を久しぶりに作成させていただきまして、農業祭だけで集客どうかと思ったんですけども、結構見に来ていただきまして、非常に関心度も高かったかなと思っています。

あと、絵画コンクールのほうも開催させていただきまして、去年よりは大体30点ほど多くなって、280点ほど応募していただきました。入賞者のほうは、先ほど申し上げましたカレンダーのほうに掲載されますので、そちらのほうをご覧くださいと思います。

また、私のほうで事業をやらせていただいた関係で、3年生には大分お願いをして、いっぱい応募していただいたんですけども、毎年そうやってやっていると、次の年にも結構応募してくれるので、年々数が増えてきているので、関心も非常に持ってもらっているかなと思ひまして、うれしく思います。

○山岸会長 ありがとうございます。

松嶋委員のほうからお願いします。

○松嶋副会長 本当に3年ぶりに開催されまして、晴天にも恵まれて、口々にみんな、できてよかったわねっておっしゃる方も多くて、飲食がなかったりするのはちょっと残念なところでしたけれども、十分、販売とかいろいろなものを見たり、クイズというか、重さを量るゲームがあったりして、お子様方がすごく楽しんでたのが印象的でした。

また、品評会も小金井の野菜はすごく立派で、いろいろなたくさん野菜が農家の皆さんがご苦労されてこういうを出していただけたなと思って、非常に皆さん関心を持って、都知事賞とか協会賞とかいろいろな賞があるんですけども、やっぱり賞を取ったのはすごくオーラがあっていいわねみたいな話をしている方もいらっしゃいました。

本当は、毎年コロナでなければ、私もそこに居合わせて、ブースにいて、どう食べるのというのを説明する役をするんですが、今年は残念ながらそういうことはなかったんですが、でも、見ていると、欲しいわとか、あした売のかしらみたいな感じで、皆さん興味津々でした。

本当にできてよかったという声が多かったので、来年以降もまた小金井の農業を周知するイベントとして非常にいいと思ったので、続けていかれたらと思います。ありがとうございました。

○山岸会長 ありがとうございました。本当に今年は3年ぶりに開催できましたといういろいろな行事が多いかなと思うんですけども、農業祭について何か委員のほうからご意見ですとかご質問等はございませんでしょうか。よろしいですか。

事務局のほうから、農業祭について何かあれば、お願いしたいと思います。

○事務局 事務局のほうとしましては、12日、13日と農業祭があったんですけども、12日の土曜日の日に永井係長と私のほうで農業祭の会場におきまして、皆様の机の上に配付させていただきました小金井市てくてくマップ、それから、健康課で作成、印刷した第4次小金井市食育推進計画のプリン

ト、本当は概要版とかを差し上げられればいいんですけども、そこまでできないので、それから今ここにはもう品切れでないんですけども、食育ホームページのチラシを3点セットにしまして配布させていただきました。2年間農業祭がコロナ禍でなくて、その前は全部で400部配布させていただいていたんですけども、今回は3年ぶりということで、頑張って500部持っていったんですけども、全てなくなりました。お天気がよかったので、人出が多かったというのが私どもの感想です。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

食育ホームページの編集委員会ということで、何か編集会議について雀部委員のほうから。

○雀部委員 その他のところに項目がありますけれども、いいですか。後でお話ししようかなと思っていたんですけども。

○山岸会長 失礼いたしました。では、そちらのほうでお願いしたいと思います。

では、議事の(3)についてはこちらのほうでよろしいでしょうか。

では、その他のほうで、よろしく願い……。

○雀部委員 そうですね。食育ホームページについてはその他のほうでお話しします。

○山岸会長 では、その他のほうに移りたいと思います。

○雀部委員 3番で、ちょっとごめんなさい。個人の活動なんですけれども、お話しさせていただきたいなと思ったことがあったので、よろしいでしょうか。

○山岸会長 よろしく願いいたします。

○雀部委員 雀部です。小金井市内の活動というわけではないんですけども、個人的な依頼を受けて、東京都の島しょ保健所、島ですね。東京都にある各島の保健所の依頼で、小笠原の関係機関への事例発表ということで、小金井の食育は一体どうしているか教えてほしいということでしたので、2月にオンラインであちらの関係各所の方々とお話をさせていただきます。関係機関と連携した地域における食育の推進ということで、小金井市の食育推進の事例からという題名がついておりますので、たっぷり今日話されたことを宣伝してこようかなと思います。

私、以前も大分前なんですけれども、山梨県の北杜市で同じように小金井の食育について学びたいということで、お話を各機関の方にさせていただいたことがありますので、多分、ご存じない方もいると思いますけれども、意外と食育を頑張っている市だというイメージがよその地域の方のほうがご存じだったりすることもありますので、たくさん宣伝してこようと思います。いつもこういう冊子の食育推進計画とかをご覧になると、驚かれるんですね。食育に関する施策の数が多いのと、進捗状況も毎年毎年ちゃんと各課に諮って、どういう状況かというのをきちっと進めていることと、あと、大体どこの自治

体も、健康課みたいな核になっている課がやっているだけで、ほかの課との連携ということはあまり図られていないんですけれども、小金井市が一番特徴的なのはごみ対策課なんかが、小金井はごみ問題については皆さんが深く考えているところもあるので、そういう課が食育について何をやっているとかということをよく連携されてまとめられているなというふうにお褒めをいただくことが多いので、お話をたくさんしてこようと思います。

○山岸会長 ありがとうございます。本当に連携されてやっておられますよね。ありがとうございます。

○松嶋副会長 もう一件。

○山岸会長 よろしくお願ひいたします。

○松嶋副会長 多分、食育コーディネーターのほうからのご紹介だと思うんですけれども、南中学校のほうから小金井野菜を取り入れるみたいな話をしてくださというふうには2年前に依頼があったのが、今年の12月に行われることになりまして、最近ようやく打合せに行って、どちらのほうで私のほうをご存じなんですかと言ったら、健康課のほうの食育のほうからご紹介いただきましたということで、これは食育コーディネーターの方が私を推していただいたんだということが分かりましたので、今度、12月14日になりますけれども、南中学校のほうで小金井野菜をふんだんに使った朝食の、子供が朝食を食べている率はすごく高いんですけれども、野菜を食べているのが少ないというようなことがありましたので、それをご説明させていただきます。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。様々なところで発信をされているようで、ありがとうございます。

すみません。私の議事進行がうまくいかず、それでは、その他のほうに行ってよろしいでしょうか。

それではまず、食育ホームページ委員会よりご報告をお願いいたします。

○雀部委員 食育ホームページ委員では、この何か月かなんですけれども、ホームページ内の古い記事について内容を精査しまして、リンク切れの資料等の変更とか削除を行うような作業を、話し合いの上でなんですけれども、そういうような作業を行っていました。大きなものとしましては、食育ホームページのチラシは毎年テーマを変えて作成しているんですけれども、今、入稿の段階に入りまして、12月に印刷が上がってきて、出来たてほやほやなんですけれども、1月の成人式で750枚、食育ホームページのチラシを配布します。今回のテーマは作り置きがテーマで、レシピがたくさんあると先ほど松嶋委員からお話があったと思いますけれども、その中からえりすぐって、和洋中のワンプレート形式にして、1つのプレートにつき3種類ほどのレシピを載せて、忙しい方とか、若い方も一人暮らしをされて

いる学生さんなんかは、まとめて作って何回か小分けにして食べるということも自炊をされている方はできると思うので、そういう意味でも、作り置きワンプレートでレシピの中から幾つかご紹介させていただいています。あと、やっぱり若い人なので、QRコードをチラシのほうにはつけておりますので、それで検索を今の子はするんじゃないかなと思っております。

いずれ皆さんのほうにもお配りできるタイミングがあるかと思っておりますので、そのときに御覧になっていただければと思います。

今月のレシピは、一番新しいものでは柿を使った、柿の甘みが優しいあえ物ということで、柿と白菜と生の春菊を使って、ヘルシーで彩りもとても豊かなあえ物が掲載されているものが一番新しいものなので、ぜひ御覧になっていただければと思います。

食育カレンダーの件に関しましては、先ほど松嶋委員のほうからお話がありましたので、私はこの場では控えさせていただきます。レシピを掲載するのをどれにするかというお話をしたということです。

以上になります。

○山岸会長 雀部委員、ありがとうございました。

もしよろしければ、そのほか、何かこれから食育事業を今までしたりですとか、これから何かされるというようなことで、何か予定がある方がいらっしゃいましたら、お話を聞かせていただけますでしょうか。

では、松本委員、よろしく願いいたします。

○松本委員 多摩府中保健所では現在、管内の6市、小金井市さんのほかに武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、狛江市の合計6市になりますけれども、こちらの健康課の栄養士さんと、それから保健所管内の大学や大学の学食を運営している事業者さんと一緒に、大学生を含む若い世代の方に向けた食育というか、食生活の改善のための動画を制作しようと思っております。現在内容検討中として、今年度末ぐらいに、3分程度のものでありますが、完成する予定です。できましたら皆様にも情報提供させていただきたいと思っておりますので、若い世代の方の食生活の改善にお役立ていただければと思います。よろしく願いいたします。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。若年層へのアプローチということですね。ありがとうございます。

いろいろとご意見ありましたけれども、今の件ですとか、今までのお話のほうで、何か委員の方からご意見等、まだおっしゃっていない方、もしよろしければ、お願いいたします。

○松嶋副会長 ちょっとだけの情報提供なんですけれども、食育推進会議に直接関わりがあるわけでは

ないんですが、今度、学芸大のほうに辻調理師専門学校ができて、連携事業が行われて、食と環境教育みたいなことをされることになっているようです。私のほうは江戸東京野菜とか農業関係でそちらのほうに関わっているんですが、今後、地元の農業者の方や食育教育をされている方と連携してつながっていきたいというご意向があります。食育に関わっている方が何らかの形でそちらのほうと関わるということだと思っておりますので、情報提供させていただきます。

○山岸会長 ありがとうございます。2月……？

○松嶋副会長 多分4月に……、何か御存じの方がいるかどうか分からないんですが、あまりオープンになって……。

○石原課長 聞いたことはありますけれども、いつからとか、そこまで細かい話は私もあまり把握していません。

○松嶋副会長 多分、JAのほうには地場野菜を提供する仕組みみたいなものをつくりたいという話があって、農業委員会からご意見というのと、私はたまたま江戸東京野菜のコンテストが辻調のほうで高校生向けにありまして、審査員をしているということでお話を伺ったところなので、今後、小金井市と辻調の方がどのように関わっていくか具体的には知らないんですけれども、辻調という大きな食のアイコンが小金井市の中にできるということで、食に関わる方はご興味があるかなと思っておりますので、そういう拠点ができることで小金井の食が豊かになっていけばなと思っております。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。また次回のときでももう少し情報が分かれば、またお聞かせいただければと思います。

○松嶋副会長 そうですね。検索していただくと、連携事業については記事があります。

○山岸会長 小金井市、学芸大というのを。

○松嶋副会長 学芸大、辻調理というのをに入れていただくと、連携事業についての説明はありました。

○山岸会長 分かりました。ありがとうございます。

すみません。ちょっと時間も大分過ぎてきましたけれども、せっかく今回対面で行うことができましたけれども、何かまだご意見等出していない委員の方で、何かご感想でもあればと思いますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。そうしましたら、事務局より次回についてお願いいたします。

○事務局 次回につきましては、2月下旬から3月上旬の水曜日の午後2時からを予定しております。一応、この会議につきましては年4回ということなので、次回が年4回目となります。また、今回の会議録案ができましたら、前回同様、メールにてお送りいたしますので、ご自分のご発言のところのご確

認、訂正等をどうぞよろしく願いいたします。

○山岸会長 ありがとうございます。

それでは、以上をもちまして、令和4年度第3回小金井市食育推進会議を終了したいと思います。皆様、本日はお疲れさまでございました。ありがとうございました。

— 了 —